

# 八丈島 水産だより

## 7月号

2006



ハマユウ



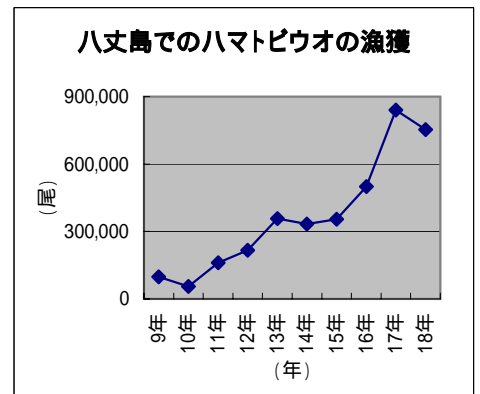
みなと感謝祭(H16八重根)

今年は八丈島では空梅雨気味です。梅雨が明けるといよいよ夏本番！7月から8月にかけては、みなと感謝祭、夏まつり、花火大会などたくさんのイベントが行なわれ、観光客もたくさん訪れます。

漁業では、トビウオ漁も終わり、キンメダイやメダイなどを対象にした底魚一本づり漁業が中心となっています。

## 今年のトビウオ漁の結果は？

2月から行なわれてきたトビウオ漁は、例年より早く6月末に終わりました。今年は約75万尾のハマトビウオがとれ、昨年に続き豊漁でした。しばらくほとんどとれなかったハマトビウオですが、ここ数年、安定してとれるようになってきました。



## キンメ・メダイで挽回！

今年の春は、いつもの年になくカツオの不漁で、カツオ漁業が中心の八丈の漁業にとっては、とてもきびしい年の始まりとなりました。これから来春までは、ほとんどの漁業者は、キンメダイ、メダイなどを対象とした底魚一本づりを行ないません。漁船の燃油代がとて高くなっているため、漁師さんは漁場までの燃油代を節約するため、いつもよりゆっくり船を走らせるなどの努力をしています。天候に恵まれ、魚がたくさん釣れるよう、いのる気持ちです。

## 水産資源の保護の取り組み

全国的にも水産資源が減っている中、八丈島では漁業者自ら、資源保護の取り組みを行なっています。シマアジの稚魚を一年近く飼育し、大きくしてから島の周りの海に放流しています。また、平成5年からアワビのなかまのトコブシという貝の稚貝を30万個買って、地元の人に放流を続けています。



シマアジの放流



昨年のみなと感謝祭

## 今年のみなと感謝祭は7月17日

毎年、海の日には、八丈島漁協が中心となり、みなと感謝祭が開かれます。とれたばかりの八丈の水産物即売会のほか、魚料理や乗船体験などが無料で楽しめます。この日は、八丈島の漁業者が、日ごろお世話になっている島の人や、観光客に感謝するとともに、漁の安全と大漁を祈願します。今年は八重根漁港で開催する予定です。